

名古屋市感染症発生動向調査情報

名古屋市感染症情報センター(名古屋市衛生研究所疫学情報部)

2020年(令和2年)3月11日作成

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-0-0-0-0-0-0.html>

◆新型コロナウイルス感染症について

- 中華人民共和国湖北省武漢市において、昨年12月以降、新型コロナウイルス感染症の発生が複数報告されて以来、世界各地で患者発生の報告が続いています。
- 市民の皆様におかれては、風邪や季節性インフルエンザ対策と同様に一人一人の咳エチケットや手洗いなどの実施がとて重要で重要。感染症対策に努めていただくようお願いいたします。
- 風邪症状があれば、外出を控えていただき、やむを得ず、外出される場合にはマスクを着用していただくよう、お願いします。
- 集団感染の共通点は、特に、「換気が悪く」、「人が密に集まって過ごすような空間」、「不特定多数の人が接触するおそれが高い場所」です。換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避けてください。
- 次の症状がある方は、「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。
 - 風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている。
(解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます)
 - 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある。**※高齢者や基礎疾患等のある方、妊婦の方は、上の状態が2日程度続く場合**
- センターでご相談の結果、新型コロナウイルス感染の疑いのある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」をご紹介します。マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて受診してください。
- 本市で設置している「帰国者・接触者相談センター」については、下記の本市公式ウェブサイトをご覧ください。

帰国者・接触者相談センター一覧(名古屋市)
<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000125533.html>
- 新型コロナウイルス感染症の詳細な情報については下記リンク等をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症について(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

新型コロナウイルスに関連する肺炎について(名古屋市)
<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000124556.html>

〔名古屋市及び愛知県における新型コロナウイルス感染症患者の発生状況：3月10日現在〕

県内No.	本市No.	確定日	発熱日	年齢	性別	居住地	患者概要
99	81	3月10日	3月7日	非公表	非公表	名古屋市	3月7日医療機関に救急搬送。 3月10日死亡確認。
98	80 (患者I)		3月9日	80歳代	男	名古屋市	県内69例目の患者(本市55例目:3月7日公表 患者E)と入院前に接触あり。
97	79 (患者H)		3月9日 (倦怠感)	60歳代	女	名古屋市	県内23例目の患者(本市18例目:2月26日公表 患者C)の濃厚接触者。
96	78 (患者G)		3月9日	80歳代	女	名古屋市	県内67例目の患者(本市53例目:3月7日公表 患者C)、県内68例目の患者(本市54例目:3月7日公表 患者D)、県内72例目の患者(本市58例目:3月8日公表 患者B)の濃厚接触者。
95	77 (患者F)		3月9日 (咳)	80歳代	女	名古屋市	県内48例目の患者(本市37例目:3月4日公表 患者E)と入院前に接触あり。
94	76 (患者E)		3月9日	70歳代	男	名古屋市	県内69例目の患者(本市55例目:3月7日公表 患者E)と入院前に接触あり。
93	75 (患者D)		3月9日 (食欲低下)	80歳代	女	名古屋市	県内38例目の患者(本市29例目:3月3日公表 患者B)と入院前に接触あり。
92	74 (患者C)		3月9日	50歳代	女	名古屋市	県内55例目の患者(本市43例目:3月5日公表 患者E)の濃厚接触者。
91	73 (患者B)		3月9日	60歳代	男	名古屋市	県内55例目の患者(本市43例目:3月5日公表 患者E)の濃厚接触者。
90	72 (患者A)		3月9日	90歳代	男	名古屋市	県内69例目の患者(本市55例目:3月7日公表 患者E)と入院前に接触あり。
89 (患者C)	-		3月9日	40歳代	男	愛知県 (尾張地方)	行動歴、濃厚接触者については現在調査中。
88 (患者B)	-		3月2日 (のどの痛み)	40歳代	女	愛知県 (尾張地方)	県内81例目の患者(愛知県3月9日発表 40歳代男性)の同居家族(濃厚接触者)。
87 (患者A)	-		なし	40歳代	男	愛知県 (尾張地方)	2月20日及び21日に3月3日大分市及び大分県発表の新型コロナウイルス陽性患者の勤務先店舗を利用。県内64例目の患者(愛知県3月7日公表 患者B)の同僚(濃厚接触者)。
86	71 (患者E)		3月9日	3月8日	40歳代	女	名古屋市
85	70 (患者D)	3月8日		90歳代	女	名古屋市	県内56例目の患者(本市44例目:3月5日公表 患者F)と入院前に接触あり。
84	69 (患者C)	3月8日		70歳代	女	名古屋市	県内79例目の患者(本市65例目:3月8日公表 患者I)と入院前に接触あり。
83	68 (患者B)	3月7日		80歳代	女	名古屋市	県内48例目の患者(本市37例目:3月4日公表 患者E)と入院前に接触あり。
82	67 (患者A)	3月8日		70歳代	男	名古屋市	県内38例目の患者(本市29例目:3月3日公表 患者B)と入院前に接触あり。
81	-	なし		40歳代	男	愛知県 (尾張地方)	2月20日に3月3日大分市及び大分県発表の新型コロナウイルス陽性患者の勤務先店舗を利用。 2月25日に県内64例目の患者(愛知県3月7日公表 患者B)と接触あり。
80	66 (患者J)	3月8日	3月7日	40歳代	女	名古屋市	大阪市内のライブハウス利用者。
79	65 (患者I)		3月6日	90歳代	男	名古屋市	県内69例目の患者(本市55例目:3月7日公表 患者E)と入院前に接触あり。
78	64 (患者H)		3月7日 (咽頭痛)	50歳代	男	名古屋市	県内77例目の患者(本市63例目:3月8日公表 患者G)の濃厚接触者。
77	63 (患者G)		3月7日 (倦怠感)	50歳代	女	名古屋市	県内48例目の患者(本市37例目:3月4日公表 患者E)と入院前に接触あり。
76	62 (患者F)		3月7日	60歳代	男	名古屋市	県内75例目の患者(本市61例目:3月8日公表 患者E)の濃厚接触者。
75	61 (患者E)		3月7日	80歳代	女	名古屋市	県内38例目の患者(本市29例目:3月3日公表 患者B)と入院前に接触あり。

74	60 (患者D)	3月8日	3月7日 (肺炎)	60歳代	女	名古屋市	県内38例目の患者(本市29例目:3月3日公表 患者B)と入院前に接触あり。
73	59 (患者C)		3月7日 (咳)	70歳代	男	名古屋市	県内38例目の患者(本市29例目:3月3日公表 患者B)と入院前に接触あり。
72	58 (患者B)		3月7日	50歳代	女	名古屋市	県内67例目の患者(本市53例目:3月7日公表 患者C)及び県内68例目(本市54例目:3月7日公表 患者D)の濃厚接触者。
71	57 (患者A)		3月7日	60歳代	女	名古屋市	県内61例目の患者(本市49例目:3月6日公表 患者D)の濃厚接触者。
70	56		-	80歳代	男	名古屋市	新型コロナウイルス陽性患者と接触あり。 3月7日死亡確認。
69	55 (患者E)	3月7日	3月6日	70歳代	男	名古屋市	本市公表事例との接触は現時点において確認できず。
68	54 (患者D)		3月6日	60歳代	女	名古屋市	県内67例目の患者(本市53例目:3月7日公表 患者C)の濃厚接触者。
67	53 (患者C)		3月6日	80歳代	男	名古屋市	県内48例目の患者(本市37例目:3月4日公表 患者E)と入院前に接触あり。
66	52 (患者B)		3月5日	80歳代	男	名古屋市	県内38例目の患者(本市29例目:3月3日公表 患者B)と入院前に接触あり。
65	51 (患者A)		3月5日 (肺炎)	60歳代	男	名古屋市	県内38例目の患者(本市29例目:3月3日公表 患者B)と入院前に接触あり。
64 (患者B)	-		3月1日	50歳代	男	愛知県 (尾張地方)	行動歴、濃厚接触者については現在調査中。
63 (患者A)	-		2月29日	60歳代	女	愛知県 (三河地方)	県内34例目の患者(愛知県3月3日発表 患者B)と2月24日に接触あり。
62	50 (患者E)	3月6日	3月5日	70歳代	女	名古屋市	県内38例目の患者(本市29例目:3月3日公表 患者B)と入院前に接触あり。
61	49 (患者D)		3月5日	90歳代	女	名古屋市	県内38例目の患者(本市29例目:3月3日公表 患者B)と入院前に接触あり。
60	48 (患者C)		3月5日	70歳代	男	名古屋市	県内38例目の患者(本市29例目:3月3日公表 患者B)と入院前に接触あり。
59	47 (患者B)		3月5日	70歳代	男	名古屋市	県内46例目の患者(本市35例目:3月4日公表 患者C)の濃厚接触者。
58	46 (患者A)		3月5日 (脱力感)	70歳代	男	名古屋市	県内18例目の患者(本市13例目:2月25日公表 患者A)の濃厚接触者。
57	45 (患者G)		3月4日	50歳代	女	名古屋市	本市公表事例との接触は現時点において確認できず。
56	44 (患者F)	3月5日	3月3日	80歳代	男	名古屋市	県内38例目の患者(本市29例目:3月3日公表 患者B)と入院前に接触あり。
55	43 (患者E)		3月4日	80歳代	女	名古屋市	県内38例目の患者(本市29例目:3月3日公表 患者B)と入院前に接触あり。
54	42 (患者D)		3月4日	40歳代	女	名古屋市	県内38例目の患者(本市29例目:3月3日公表 患者B)と入院前に接触あり。
53	41 (患者C)		3月4日	60歳代	女	名古屋市	県内29例目の患者(本市24例目:2月29日公表)と入院前に接触あり。
52	40 (患者B)		2月22日 (倦怠感)	60歳代	男	名古屋市	県内8例目の患者(本市3例目:2月19日公表)の健康観察対象者。
51	39 (患者A)		2月26日 (咳)	40歳代	女	名古屋市	県内4例目の患者(本市2例目:2月15日公表)の健康観察対象者。
50	-		2月28日	50歳代	男	愛知県 (尾張地方)	ドイツ経由でフランス出国。フランス帰国者。
49	38 (患者F)		3月4日	3月3日	80歳代	男	名古屋市
48	37 (患者E)	3月1日		80歳代	男	名古屋市	県内38例目の患者(本市29例目:3月3日公表 患者B)と入院前に接触あり。
47	36 (患者D)	3月3日		80歳代	男	名古屋市	県内30例目の患者(本市25例目:3月1日公表 患者A)と入院前に接触あり。
46	35 (患者C)	3月3日		70歳代	女	名古屋市	県内30例目の患者(本市25例目:3月1日公表 患者A)と入院前に接触あり。
45	34 (患者B)	3月2日		50歳代	男	名古屋市	県内29例目の患者(本市24例目:2月29日公表)又は県内31例目の患者(本市26例目:3月1日公表 患者B)と入院前に接触あり。
44	33 (患者A)	3月1日		60歳代	女	名古屋市	県内22例目の患者(本市17例目:2月26日公表 患者B)の濃厚接触者

43 (患者B)	-	3月4日	3月1日	30歳代	男	愛知県 (三河地方)	県内33例目の患者(愛知県3月3日発表 患者A)及び34例目の患者(愛知県3月3日発表 患者B)の家族(濃厚接触者)。
42 (患者A)	-		明らかな 症状なし	50歳代	男	愛知県 (三河地方)	県内33例目の患者(愛知県3月3日発表 患者A)及び34例目の患者(愛知県3月3日発表 患者B)の家族(濃厚接触者)。

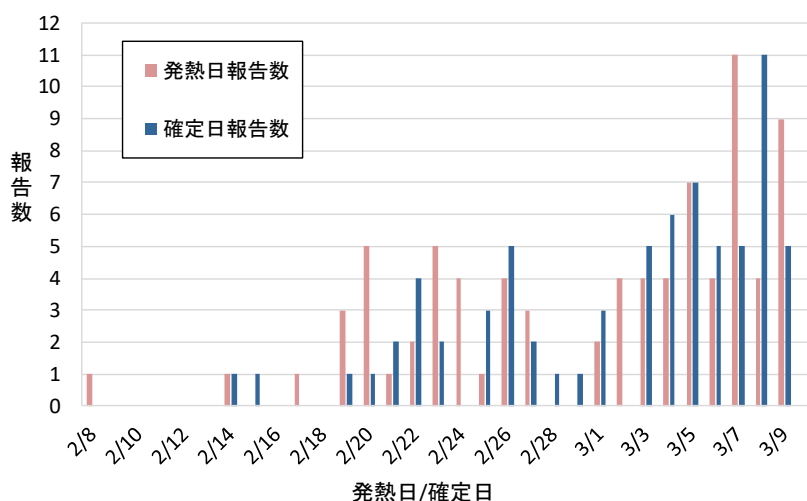
県内 No.1~41 (本市 No.1~32) の感染者情報については、名古屋市感染症発生動向調査情報 (2020 年第 8 週・第 9 週) に掲載していますので、下記のリンクをご覧ください。

- ・名古屋市感染症発生動向調査情報 (週報・月報)

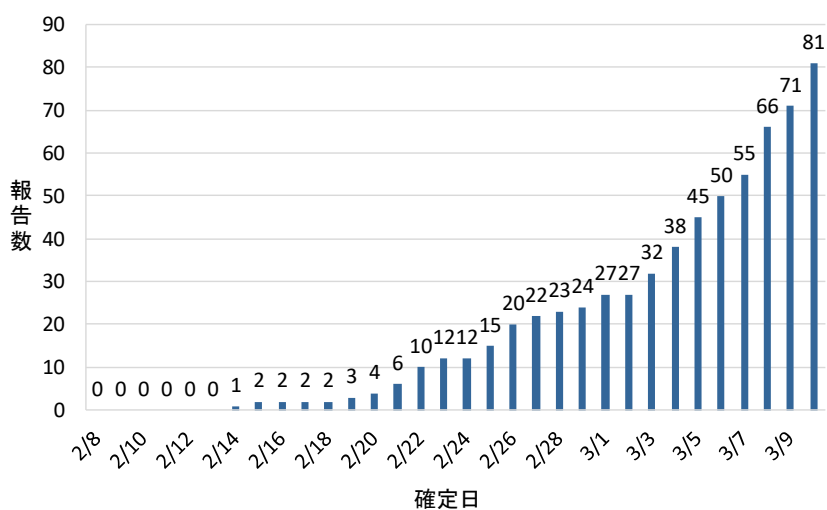
<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000101900.html>

〔名古屋市における新型コロナウイルス感染症報告数：3月10日現在〕

新型コロナウイルス感染症報告数(名古屋市 n=81)



感染者数の累計(名古屋市)



(発熱日、確定日の報告数は本市公表資料に基づく)

◆本市の状況

〔インフルエンザ〕

- 本市における2020年第10週（3月2日～3月8日）のインフルエンザの定点当たり患者報告数は3.71人で、前週（4.70）より減少しました。
- 西区および守山区では定点当たり患者報告数が、国立感染症研究所が定める注意報レベルとなっています。
- インフルエンザB型の患者が多く報告されています。2019/20シーズンはインフルエンザウイルスのうちA/H1N1pdm09亜型が全国的に最も多く検出されており、A/H3N2亜型、B型ビクトリア系統も検出されています。
- インフルエンザは小児や高齢者、免疫力の低下している方では重症化する場合があるので注意が必要です。
- 主な感染経路は、感染した人の咳やくしゃみによる飛沫感染と病原体に汚染された物等を介した接触感染です。予防には人ごみを避け、帰宅時には手洗いを行い、また、感染を広げないためにも「咳エチケット」を守りましょう。

〔定点把握感染症の発生動向〕

- 本市における2020年第10週（3月2日～3月8日）のRSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は0.41人で、前週（0.13）より増加しました。
- 本市における2020年第10週（3月2日～3月8日）の咽頭結膜熱の定点当たり患者報告数は0.44人で、前週（0.26）より増加しました。
- 本市における2020年第10週（3月2日～3月8日）のA群溶血性連鎖球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1.41人で、前週（1.23）より増加しました。

〔1類～5類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要

2020 年第 10 週	2 類	結核	16	<ul style="list-style-type: none"> ・女性、89 歳、結核性胸膜炎 ・女性、80 歳、結核性胸膜炎 ・男性、82 歳、肺結核 ・男性、47 歳、肺結核 ・男性、88 歳、肺結核 ・女性、85 歳、肺結核 ・女性、41 歳、肺結核 ・男性、93 歳、肺結核 ・男性、74 歳、肺結核 ・男性、75 歳、肺結核 ・男性、78 歳、肺結核、結核性胸膜炎 ・女性、82 歳、肺結核、結核性胸膜炎 ・女性、0 歳、無症状病原体保有者 ・男性、61 歳、無症状病原体保有者 ・男性、2 歳、無症状病原体保有者 ・男性、69 歳、無症状病原体保有者
2020 年第 10 週	指定	新型コロナウイルス感 染症	17	<ul style="list-style-type: none"> ・男性、60 歳代、市内在住、主な症状：発熱 ・男性、60 歳代、市内在住、主な症状：発熱 ・女性、40 歳代、市内在住、主な症状：発熱、咳 ・女性、60 歳代、市内在住、主な症状：発熱、咳 ・女性、80 歳代、市内在住、主な症状：発熱 ・男性、50 歳代、市内在住、主な症状：発熱 ・女性、70 歳代、市内在住、主な症状：発熱、咳 ・男性、80 歳代、市内在住、主な症状：発熱 ・男性、80 歳代、市内在住、主な症状：発熱 ・男性、80 歳代、市内在住、主な症状：発熱、咳 ・女性、60 歳代、市内在住、主な症状：発熱、咳 ・女性、40 歳代、市内在住、主な症状：発熱 ・男性、80 歳代、市内在住、主な症状：発熱、咳 ・女性、60 歳代、市内在住、主な症状：発熱、疑似症患者 ・女性、50 歳代、市内在住、主な症状：発熱、咳、疑似症患者 ・女性、80 歳代、市内在住、主な症状：発熱、疑似症患者

				<ul style="list-style-type: none"> 女性、80歳代、市内在住、主な症状：発熱、咳、疑似症患者
2020年 第10週	4類	A型肝炎	1	<ul style="list-style-type: none"> 男性、45歳
2020年 第10週	5類	アメーバ赤痢	2	<ul style="list-style-type: none"> 男性、72歳、腸管アメーバ症、感染原因：経口感染／その他、感染地域：国内 男性、56歳、腸管アメーバ症、感染原因：経口感染／その他、感染地域：国内
2020年 第10週	5類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	<ul style="list-style-type: none"> 女性、30歳、菌検出検体：尿、菌種：<i>Klebsiella (Enterobacter) aerogens</i>、感染原因：医療器具関連感染 女性、68歳、菌検出検体：胆汁、菌種：<i>Klebsiella pneumoniae</i>、感染原因：以前からの保菌
2020年 第10週	5類	後天性免疫不全症候群	1	<ul style="list-style-type: none"> 男性、27歳、無症状病原体保有者、感染経路：性的接触（異性間）、感染地域：国内
2020年 第10週	5類	梅毒	2	<ul style="list-style-type: none"> 男性、34歳、早期顕症梅毒（2期） 女性、24歳、無症状病原体保有者

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった1類から5類全数報告感染症。

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2020年 第9週	2類	結核	1	<ul style="list-style-type: none"> 男性、77歳、肺結核、
2020年 第9週	指定	新型コロナウイルス感染症	3	<ul style="list-style-type: none"> 男性、60歳代、市内在住、主な症状：発熱 女性、70歳代、市内在住、主な症状：発熱、急性呼吸不全 女性、50歳代、市内在住、主な症状：発熱、咳

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

2020 年 第9週	5類	侵襲性肺炎球菌感 染症	3	<ul style="list-style-type: none"> ・女性、84歳、菌検出検体：血液 ・男性、74歳、菌検出検体：髄液 ・女性、80歳、菌検出検体：血液
2020 年 第8週	2類	結核	1	<ul style="list-style-type: none"> ・男性、68歳、無症状病原体保有者

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

〔2020年1類～5類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

感染症の分類	疾患	累計
1類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2類感染症	急性灰白髄炎	0
2類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	104 (26) [0] [0] [0]
2類感染症	ジフテリア	0
2類感染症	重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）	0
2類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る）	0
2類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0
指定感染症	新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。）	42[1]
3類感染症	コレラ	0
3類感染症	細菌性赤痢	0
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2
3類感染症	腸チフス	0
3類感染症	パラチフス	0
4類感染症	デング熱	3
4類感染症	A型肝炎	1
4類感染症	レジオネラ症	3
5類感染症	アメーバ赤痢	6

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

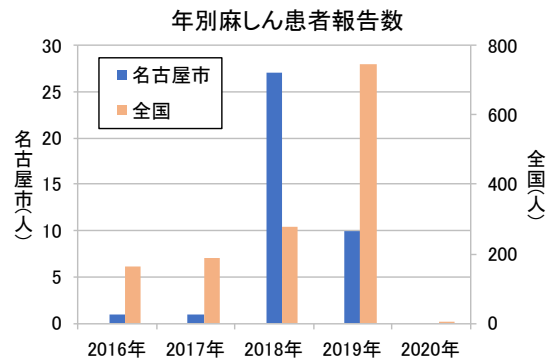
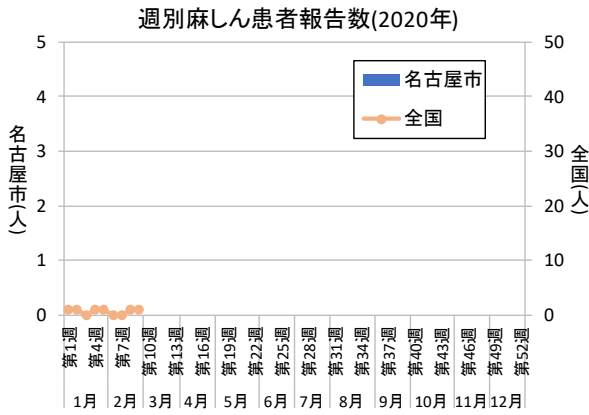
5 類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	8
5 類感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ヘネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）	3
5 類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4
5 類感染症	後天性免疫不全症候群	11 (10)
5 類感染症	シアルジア症	1
5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	7
5 類感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	1
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	17
5 類感染症	水痘（入院例に限る）	2
5 類感染症	梅毒	24 (4)
5 類感染症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1
5 類感染症	百日咳	29
5 類感染症	風しん	7

累計は 2018 年第 1 週からの診断週による累計、() 内は無症状病原体保有者累計数を再掲、[] 内は疑似症累計数を再掲、【 】内は感染症死亡者の死体累計数を再掲、〔 〕内は感染症死亡疑い者の死体累計数を再掲、〈 〉内は後天性免疫不全症候群の「その他」累計数を再掲。

対象疾患が多いため、4 類及び 5 類感染症は報告のあった疾患のみを掲載。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

〔名古屋市の麻しん報告数：2020年3月11日作成〕



週別麻しん患者報告数(2020年)

名古屋市	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	第10週(3月8日)までの合計(人)
														0

表は患者報告のあった週のみ掲載し、報告が0人の週については省略

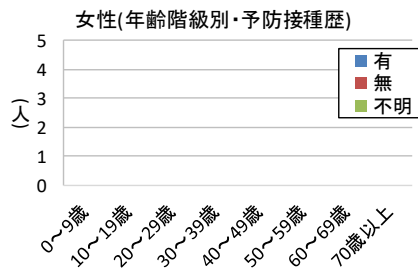
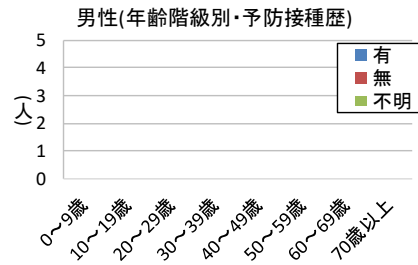
年別麻しん患者報告数

麻しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
名古屋市	75	11	6	19	5	1	20	0	1	1	27	10	0※1
愛知県	197	29	32	32	39	25	46	0	5	1	37	41	2※2
全国	11013	732	447	439	283	229	462	35	165	186	279	744※3	6※2

※1 第10週(3月8日)まで ※2 第9週(3月1日)まで ※3 報告数は速報値

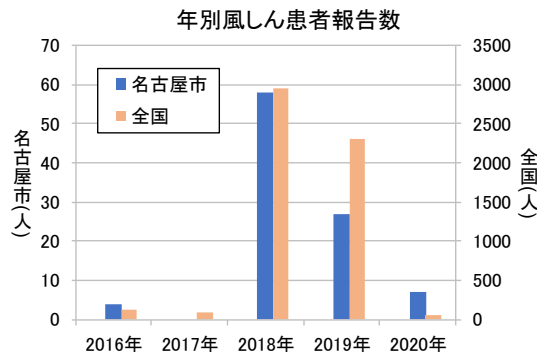
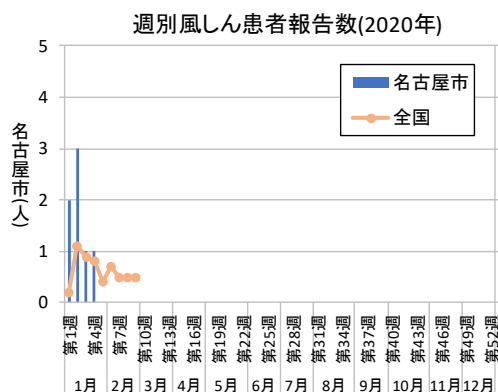
麻しん患者の性別・年齢階級別・予防接種歴(2020年名古屋市)

		予防接種歴			
		有	無	不明	総計(人)
男性	0~9歳				0
	10~19歳				0
	20~29歳				0
	30~39歳				0
	40~49歳				0
	50~59歳				0
	60~69歳				0
	70歳以上				0
計(人)				0	
女性	0~9歳				0
	10~19歳				0
	20~29歳				0
	30~39歳				0
	40~49歳				0
	50~59歳				0
	60~69歳				0
	70歳以上				0
計(人)	0	0	0	0	
総計(人)		0	0	0	0



(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔名古屋市の風しん報告数：2020年3月11日作成〕



週別風しん患者報告数(2020年)

名古屋市	第1週 (12/30~ 1/5)	第2週 (1/6~ 1/12)	第3週 (1/13~ 1/19)	第4週 (1/20~ 1/26)	/				第10週(3月8日)まで の合計(人)
		2	3	1	1				

表は患者報告のあった週のみ掲載し、報告が0人の週については省略

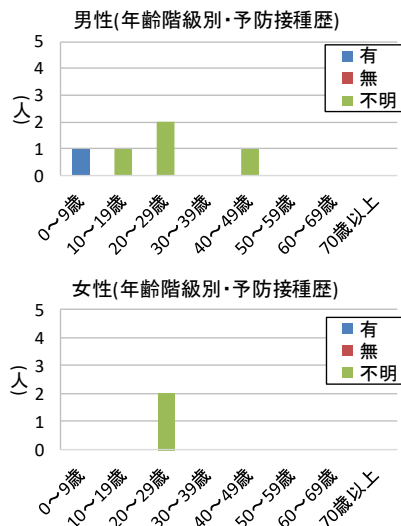
年別風しん患者報告数

風しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
名古屋市	1	1	0	7	38	191	7	2	4	0	58	27	7※1
愛知県	3	10	3	13	97	375	22	13	20	3	118	59	7※2
全国	303	147	87	378	2386	14344	319	163	126	91	2946	2306※3	56※2

※1 第10週(3月8日)まで ※2 第9週(3月1日)まで ※3 報告数は速報値

風しん患者の性別・年齢階級別・予防接種歴(2020年名古屋市)

	年齢階級	予防接種歴			総計(人)
		有	無	不明	
男性	0~9歳	1			1
	10~19歳			1	1
	20~29歳			2	2
	30~39歳				0
	40~49歳			1	1
	50~59歳				0
	60~69歳				0
	70歳以上				0
	計(人)	1	0	4	5
女性	0~9歳				0
	10~19歳				0
	20~29歳			2	2
	30~39歳				0
	40~49歳				0
	50~59歳				0
	60~69歳				0
	70歳以上				0
	計(人)	0	0	2	2
	総計(人)	1	0	6	7



風しん患者情報(2020年名古屋市)

No	診断年月日	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	2020.1.4	20歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)
2	2020.1.5	20歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)
3	2020.1.8	20歳代	女	不明	国内(愛知県 名古屋市)
4	2020.1.9	5歳	男	有	国内(愛知県)
5	2020.1.11	10歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)
6	2020.1.14	20歳代	女	不明	国内(愛知県 名古屋市)
7	2020.1.23	40歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔愛知県麻疹・風しん患者調査事業について〕

平成 20 年 1 月 1 日から、麻疹・風しんは全数把握対象疾患となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻疹・風しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。調査結果については下記のリンク先（愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>）をご覧ください。

〔定点医療機関からの情報〕

定点医療機関からは検査結果や患者発生状況等がコメント情報として報告されています。定点医療機関から報告されたコメント情報は下記のとおりです。なお、コメント情報のなかった定点医療機関については掲載しておりません。

インフルエンザ：B型 3名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ：B型 1名 アデノウィルス扁桃炎：3歳男児女児各1名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ：B型 1名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザB 1名	定点医療機関（東区）
B型インフルエンザ5名	定点医療機関（東区）
インフルエンザB型 2名	定点医療機関（東区）
2才女児フルB溶連菌重複（2019～2020のシーズン4例目）	定点医療機関（東区）
インフルエンザすべてB型	定点医療機関（西区）
インフルエンザB型 4名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザA型 1名	定点医療機関（中村区）

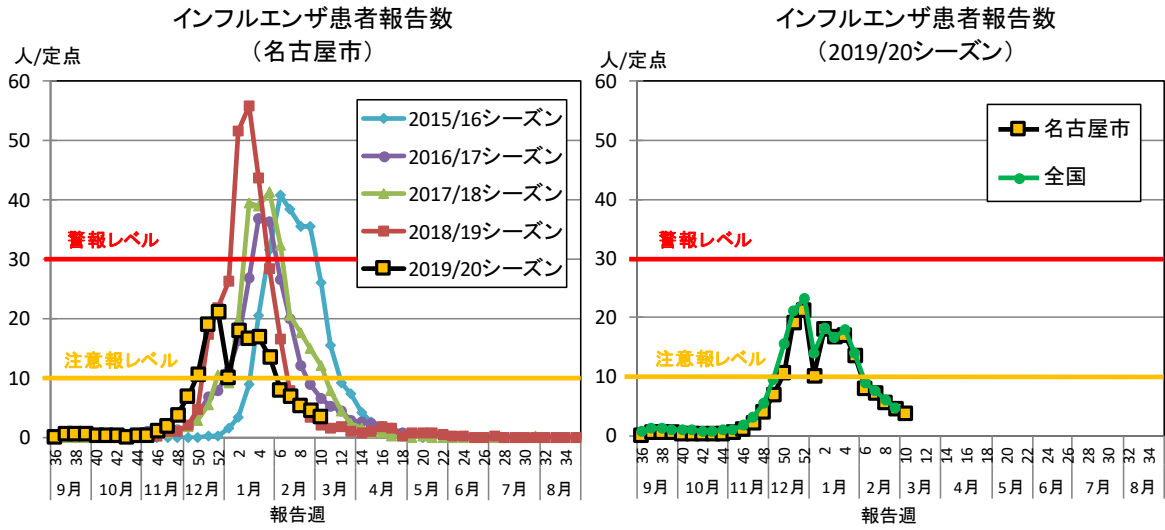
NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

インフルエンザB型2名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザB型6名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザB型：2名	定点医療機関（中区）
インフルエンザA型：1名、インフルエンザB型：4名、 臨床診断例：1名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザB型：2名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザB型：2名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザB型4名	定点医療機関（港区）
インフルエンザB型3名	定点医療機関（南区）
インフルエンザB型1名	定点医療機関（南区）
B型 8名	定点医療機関（守山区）
B型 5名 臨床診断 2名	定点医療機関（守山区）
B型	定点医療機関（緑区）
すべてB型	定点医療機関（緑区）
インフルエンザB型4名でした	定点医療機関（名東区）
インフルエンザB型6名でした	定点医療機関（名東区）
インフルエンザB型2名	定点医療機関（天白区）

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

インフルエンザB型3名	定点医療機関（天白区）
-------------	-------------

〔名古屋市のインフルエンザ報告数：2020年3月11日作成〕



※名古屋市は2020年第10週、全国は2020年第9週までの報告数

定点当たり患者報告数(2019/20シーズン:8週分)

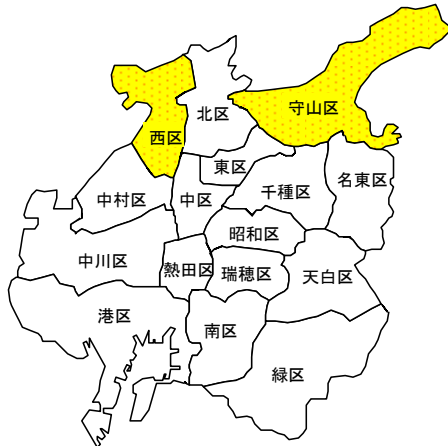
	第3週 (1/13~ 1/19)	第4週 (1/20~ 1/26)	第5週 (1/27~ 2/2)	第6週 (2/3~ 2/9)	第7週 (2/10~ 2/16)	第8週 (2/17~ 2/23)	第9週 (2/24~ 3/1)	第10週 (3/2~ 3/8)
名古屋市	16.77	16.91	13.60	8.11	7.14	5.54	4.70	3.71
名古屋市 (2018/19)	55.77	43.69	28.47	16.67	7.91	5.21	3.34	2.21
愛知県	24.06	25.14	19.76	11.33	10.13	8.81	7.57	—
全国	16.73	18.00	14.11	9.04	7.49	6.12	4.47	—

※「1」を超えると流行入り、「10」を超えると注意報、「30」を超えると警戒の基準
 ※報告数は各週公表時における速報値

各区の患者報告数(第10週)

	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	合計
市内70定点からの 患者報告数(人)	7	17	13	41	14	2	8	0	9	38	6	5	52	10	24	14	260
定点当たり 患者報告数(人)	1.4	4.3	2.6	10.3	2.8	0.5	1.6	0.0	2.3	9.5	1.5	1.3	10.4	2.5	6.0	3.5	3.71

インフルエンザ



2020年第10週

注意報警戒レベルについて

患者報告状況 (定点当たり患者報告数)	色
平常レベル	
注意報レベル	黄色
警戒レベル	赤色

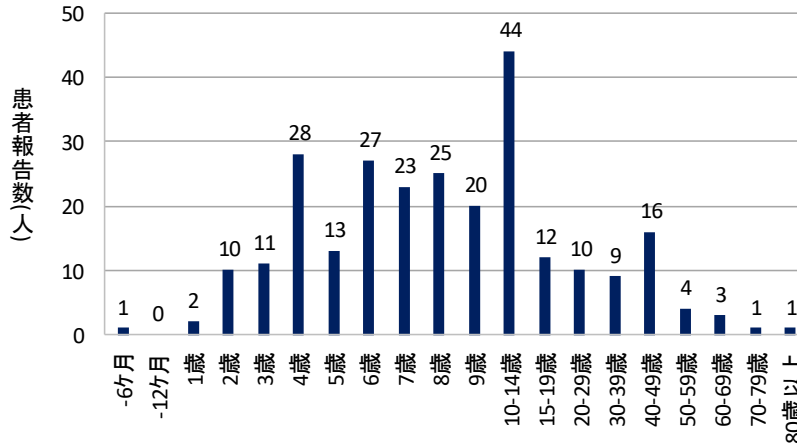
注意報・警戒レベルの基準値(定点当たり患者報告数)

注意報レベル		警戒レベル	
基準値	開始基準値	終息基準値	
10	30	10	

注意報レベル: 定点当たりの患者報告数が10以上30未満の場合
 警戒レベル: 定点当たりの患者報告数が30以上となり、その後、10未満となるまで

年齢階級別患者報告数

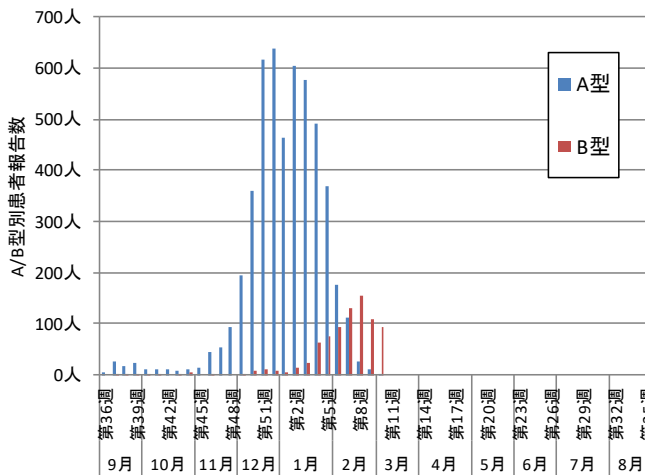
定点からのインフルエンザの
年齢階級別患者報告数(第10週)



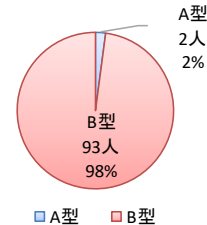
インフルエンザA/B型別流行状況

インフルエンザウイルス迅速診断キットによるインフルエンザA/B型別の検査結果が定点医療機関から報告されています。本市におけるインフルエンザA/B型別の患者情報を集計したところ、2020年第10週は、インフルエンザA型2人、インフルエンザB型93人で、B型の患者が多く報告されています。2019/20シーズンの累計では、インフルエンザA型4957人(86%)、B型804人(14%)となっています。2019/20シーズンはインフルエンザウイルスのうちA/H1N1pdm09亜型が全国的に最も多く検出されており、A/H3N2亜型、B型ビクトリア系統も検出されています。

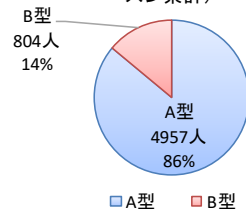
インフルエンザA/B型別患者報告数(2019/20シーズン)
(定点医療機関からの情報による)



インフルエンザA/B型別患者
報告数の割合(第10週)



インフルエンザA/B型別患者
報告数の割合(2019/20シー
ズン累計)



(報告数はその訂正などにより、変更される場合があります)

◆2020年第10週 患者報告数(疾病別)、定点あたり患者報告数(疾病別)、年齢階層別患者報告数(疾病別)

患者報告数(名古屋市)

2020年第10週(2020年3月2日~3月8日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	太白	計	前週比	過去比*
★インフルエンザ	7	17	13	41	14	2	8		9	38	6	5	52	10	24	14	260	0.8	0.5
○RSウイルス感染症	1		1	8						6		5	1	4	2	1	29	3.2	2.9
○咽頭結膜熱	3	2	1	15						5		2			3		31	1.7	2.5
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11	6	2	9	1	3	1		4	5	8	6	16	9	13	5	99	1.2	1.3
○感染性胃腸炎	20	8	34	26	21	2	5			5	14	2	24	7	13	12	193	1.1	0.9
○水痘	1		2	3									2	1	1	1	11	0.8	0.7
○手足口病															1		1	0.3	0.2
○伝染性紅斑			1	2						1			1				5	0.6	0.6
○突発性発疹	1	1	1	1						1			1				6	0.5	0.5
○ヘルパンギーナ										1							1	1.0	3.0
○流行性耳下腺炎			1														1	1.0	0.3
△急性出血性結膜炎																	0		
△流行性角結膜炎	1																1	0.5	0.8
◇細菌性髄膜炎																	0		
◇無菌性髄膜炎																	0		
◇マイコプラズマ肺炎							5										5	5.0	5.0
◇クラミジア肺炎																	0		
◇感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																	0		0.0
計	45	34	56	105	36	7	19	0	13	62	28	21	96	31	57	33	643		

*過去3年の同週の平均値との比

★インフルエンザ定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
○小児科定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
△眼科定点数	1		1	1	1		1	1	1			1		1	1	1	11		
◇基幹定点数			1				1			1							3		

★○△◇は定点種別を示す。

セルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

定点あたり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況(名古屋市)

2020年第10週(2020年3月2日~3月8日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	太白	平均
インフルエンザ	1.4	4.3	2.6	10.3	2.8	0.5	1.6		2.3	9.5	1.5	1.3	10.4	2.5	6.0	3.5	3.7
RSウイルス感染症	0.2		0.2	2.0						1.5		1.3	0.2	1.0	0.5	0.3	0.4
咽頭結膜熱	0.6	0.5	0.2	3.8						1.3		0.5			0.8		0.4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.2	1.5	0.4	2.3	0.2	0.8	0.2		1.0	1.3	2.0	1.5	3.2	2.3	3.3	1.3	1.4
感染性胃腸炎	4.0	2.0	6.8	6.5	4.2	0.5	1.0			1.3	3.5	0.5	4.8	1.8	3.3	3.0	2.8
水痘	0.2		0.4	0.8										0.4	0.3	0.3	0.2
手足口病															0.3		0.0
伝染性紅斑			0.2	0.5						0.3			0.2				0.1
突発性発疹	0.2	0.3	0.2	0.3						0.3		0.3					0.1
ヘルパンギーナ										0.3							0.0
流行性耳下腺炎			0.2														0.0
急性出血性結膜炎																	
流行性角結膜炎	1.0																0.1

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

流行警報・注意報について

■ **太字の数字** は流行発生警報

■ **斜体の数字** は流行発生注意報

■ 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値(左表)に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。

■ この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

年齢階層別患者報告数(名古屋市)

2020年第10週(2020年3月2日～3月8日)

疾患 \ 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ	1		2	10	11	28	13	27	23	25	20	44	12	10	9	16	4	3	1	1

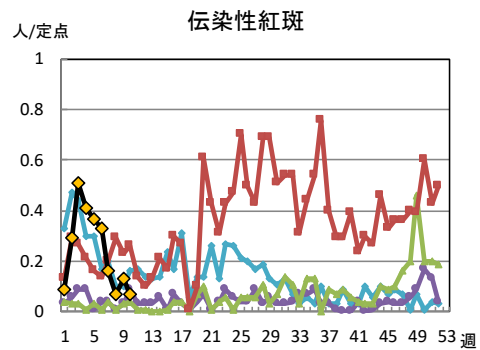
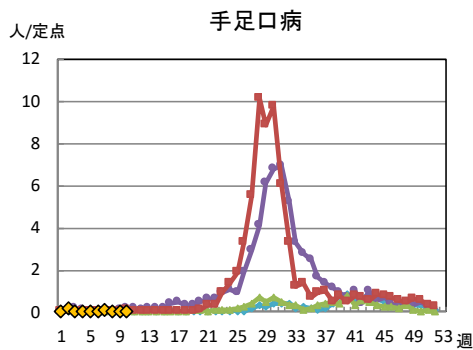
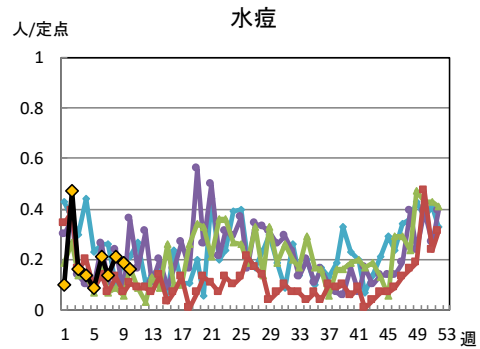
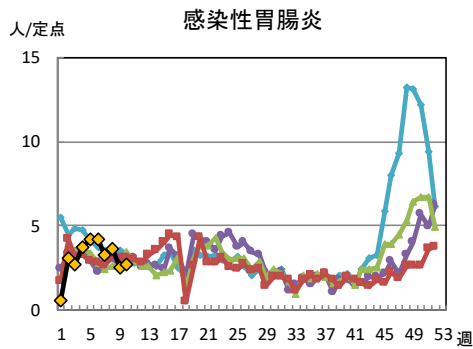
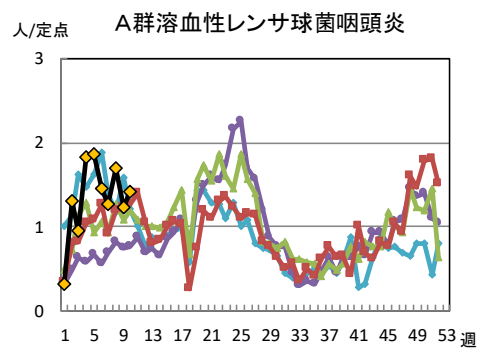
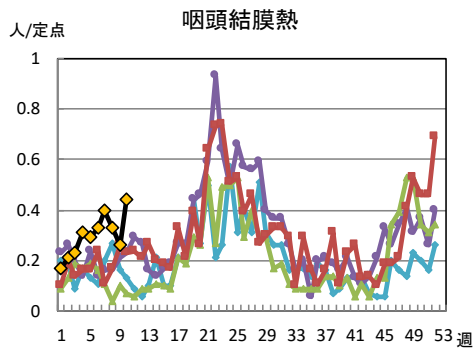
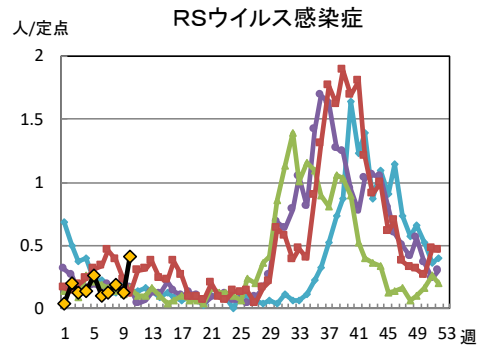
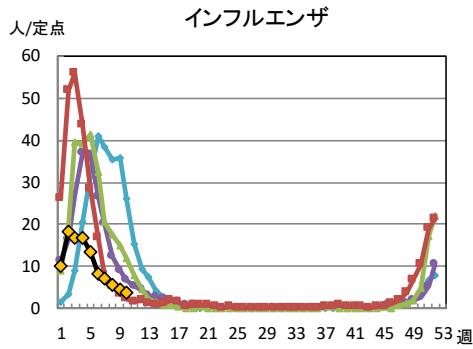
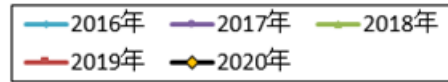
疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上
RSウイルス感染症	3	5	9	5	6		1							
咽頭結膜熱	1	2	9	6	3	4	2	3		1				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			4	10	6	10	12	12	11	6	3	9	1	15
感染性胃腸炎	2	15	29	26	17	13	12	13	4	10	5	9	3	35
水痘			2			2	2	1	1	1		2		
手足口病				1										
伝染性紅斑				1				1		2				
突発性発しん		1	3	2										
ヘルパンギーナ				1										
流行性耳下腺炎					1									

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎																				
流行性角結膜炎															1					

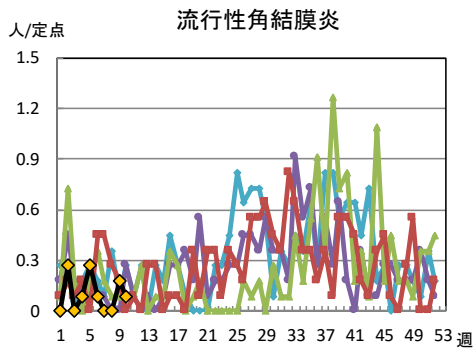
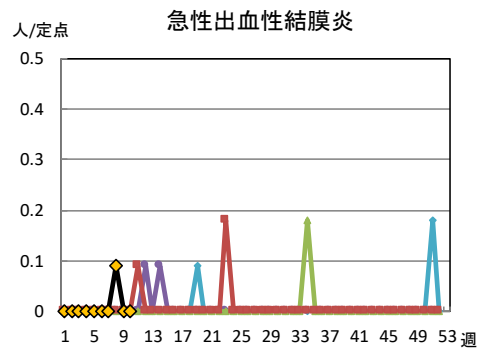
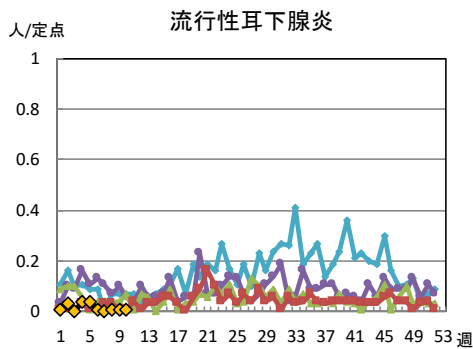
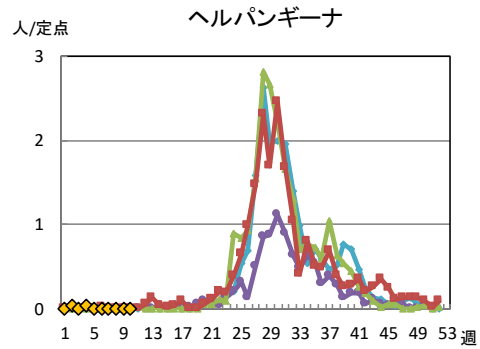
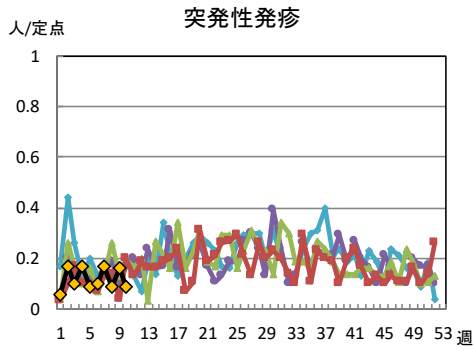
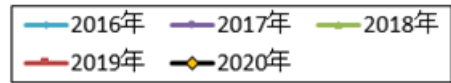
疾患 / 年齢階層	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎																
無菌性髄膜炎																
マイコプラズマ肺炎		1	2	2												
クラミジア肺炎																
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(1) 2020年第10週まで



◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(2) 2020年第10週まで



◆ 基幹病院定点月報の集計結果〔2020年2月分〕

基幹定点数：3（西部医療センター(北)、名古屋第二赤十字病院(昭和)、名古屋掖済会病院(中川)）

表1. 基幹定点報告、区別患者報告数(名古屋市)

2020年2月

疾患 / 区	北	昭和	中川	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		2		2
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		1		1
薬剤耐性緑膿菌感染症				0
計	0	3	0	3

表2. 基幹定点報告、年齢階級別報告数(名古屋市)

2020年2月

疾患 / 年齢階級	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90歳-	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2										2
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1										1
薬剤耐性緑膿菌感染症											0
計	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3

◆ 性感染症について〔性感染症定点把握、2020年2月分〕

性感染症定点数：15（泌尿器科系：8、産婦人科系：7）

報告された患者数を性別でみると、男性では性器クラミジア感染症、淋菌感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマの順に多く、女性では性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、淋菌感染症、尖圭コンジローマの順に多く報告がありました。今月の性感染症の報告数は男性120人、女性は47人でした。（表2、図1参照）

2020年2月分を年齢階級別に見ると、男性の性器クラミジア感染症は15歳から54歳の年齢階級で報告があり、性器ヘルペスウイルス感染症は20歳以上の全ての年齢階級で報告がありました。尖圭コンジローマは20歳から44歳および50歳以上の年齢階級で報告があり、淋菌感染症は15歳から54歳の年齢階級で報告がありました。女性では性器クラミジア感染症は15歳から34歳および40歳から54歳の年齢階級で報告があり、性器ヘルペスウイルス感染症は20歳から44歳および50歳以上の年齢階級で報告がありました。尖圭コンジローマは20歳から24歳および40歳から44歳の年齢階級で報告があり、淋菌感染症は20歳から24歳および35歳から39歳の年齢階級で報告がありました（表2、図2参照）。

表1. 性感染症区別患者報告数(名古屋市)

2020年2月

疾患 / 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
性器クラミジア感染症	3		13	2	8	32	6			12	4			4	2		86
性器ヘルペスウイルス感染症			3	6	3	6	1	3			6	1		4		4	37
尖圭コンジローマ			1		2	9				1				1			14
淋菌感染症			6		1	13	2			6		1		1			30
計	3		23	8	14	60	9	3		19	10	2		10	2	4	167

STD定点数	1		2	1	1	2	1	1		1	1	1		1	1	1	15
--------	---	--	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	--	---	---	---	----

のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

表2. 性感染症年齢階級別患者報告数(名古屋市)

2020年2月

疾患 / 年齢階級	性別	0-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55歳-	計
性器クラミジア感染症	男性		6	11	18	11	8	1	5	4		64
	女性		7	8	3	1		1	1	1		22
性器ヘルペスウイルス感染症	男性		1	3	3	1	1	3	5	2		19
	女性			1	4	5	2	4		1	1	18
尖圭コンジローマ	男性			2	2	2	2	1		1	1	11
	女性			2				1				3
淋菌感染症	男性		3	5	7	3	2	1	3	2		26
	女性			3			1					4
計	男性		9	19	30	19	13	4	11	12	3	120
	女性		7	14	7	6	3	6	1	2	1	47

図1. STD各感染症が総報告数に占める割合(2020年2月)

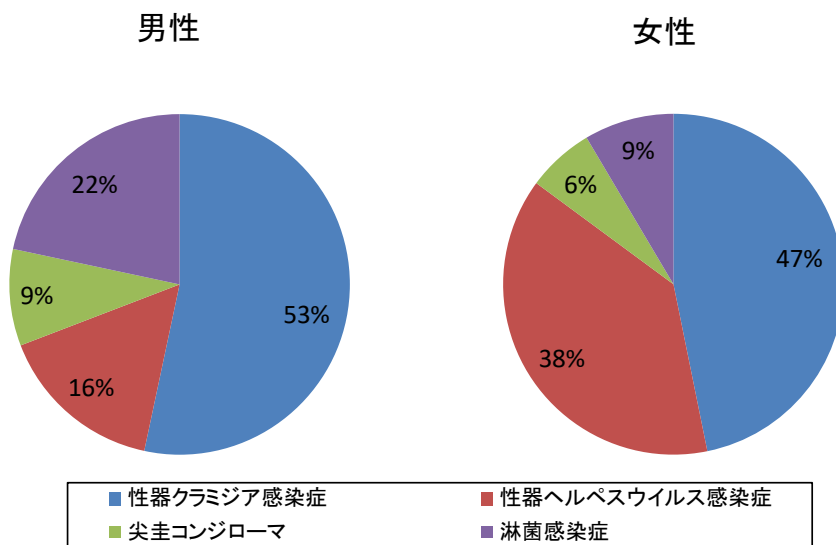


図2. 各STDの性別・年齢階級の定点あたり報告数(2020年2月)

